

各企業等の社会貢献

登寿ホールディングスが清掃奉仕  
恩返しの気持ち込め作業  
帯広神社と十勝護國神社で



た「たってほしい」と呼びかけら帯広神社とはゆかりがあり、市民や私たちにとってこのあと、参加者は分か守り神である。清掃活動を

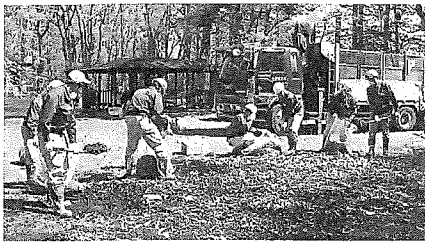
れて参道や境内を清掃。枝などを回収したほか、スコップを使って、どんどん焼きで出た大量の灰を要領よくごみ袋に入れた。

通して、参拜に訪れた人に気持ちよく利用してもらえれば」と話していた。

枯れ枝集めなど  
帯広神社を清掃

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は14日、帯広神社で清掃奉仕活動をした。グループ4社から108人が参加し、枯れ枝などを拾い集め、どんどん焼きの灰なども処分した。写真。



隣にある帯広護國神社と併せて取り組んでいる活動で22回目となる。7日に予定していたが雨天で1週間延期となり、予定していた参加者は例年の半分となった。宇佐美恭広副社長は「けがのないよう作業に取り組んでほしい」と開始前に激励した。  
ごみ袋を手に参加者は、冬の間にたまった境内のごみを拾い集めた。終了後は全員で整列して本殿で拝礼した。

奉仕

◆宮坂建設工業グループ（帯広市、宮坂寿文社長）が清掃



14日、帯広神社と十勝護國神社境内で行った。グループ役員108人が参加。「どんどん焼き」

で出た灰や強風などで落ちた枝葉を片付けたり、手水場（ちよづば）の石の水槽を磨いたりした写真。

同社の高道伸専務執行役員は「神社でお願いをするばかりではなく、感謝することが大事。われわれや市民の安全を守ってくれている神様に感謝の気持ちを込めて毎年清掃を行っている」と話した。

清掃は当初7日を予定していたが雨で延期。例年清掃後に行っている安全祈願は同日に予定通り行われ、グループ従業員321人が参加した。

【帯広発】宮坂建設工業（株）（帯広、宮坂寿文社長）をはじめとする登寿ホールディングスは14日、帯広神社と十勝護國神社で神社清掃奉仕活動を行った。写真。ことしで二十二回目を迎える取組で、総勢約100人が参加し、気持ちよい汗を流した。  
同社は「世の為人の為につくせ」の精神から、日々の恩返しの気持ちを含めて、様々な地域貢献活動を展開している。この清掃奉仕は七年度から毎年、実施している取組の一つで、社員たちも積極的に参加している。  
この日、宮坂建設工業、（株）平田建設、寿ホームエン지니어リング（株）などの役員約100人が参加した。  
はじめに、宇佐美恭広副社長があいさつし、「ことしも多くの職員が参加している。けがや事故がないよう、気を付けて作業に当